

	一橋大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	言語社会研究科 (M : 49名 D : 21名)
沿 革	明治20 (1887) 年 高等商業学校 (旧制) 設置 大正9 (1920) 年 東京商科大学 設置 昭和24 (1949) 年 一橋大学 設置 平成8 (1996) 年 大学院言語社会研究科 設置
設置目的等	平成8 (1996) 年に、言語・文化・芸術等の分野の人文型高度職業専門人を養成して社会に貢献することを目的として、言語社会研究科が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	<p><b>【総論】</b> 一橋大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、我が国における普遍的役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。 引き続き、上記の役割を果たしながら、教育並びに研究において明らかにされる強み・特色・役割等を踏まえ、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行する。</p> <p><b>【教育】</b> (大学院)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語・文化・芸術等の人文科学の領域における先進的な教育を通して、人文的教養と専門性の統合、高度な外国語能力と国際性の涵養、知識を社会にいかす実践性を有する高度専門職業人・研究者を養成する。</li> <li>○ このため、小規模でありながら人文科学の幅広い領域をカバーすべく他研究科や学外機関と協力・連携し多彩な教育ニーズに対応している。</li> <li>○ この結果、アジア文化講座・日本語教育学位取得プログラムなどの連携講座の充実につながっている。</li> <li>○ 今後、教育の国際性をさらに発展させるために海外大学との部局間学生交流協定の増加に取り組み、博士課程学位取得者の更なる研究力強化のために博士課程取得後のジュニア・フェロー制度導入の設計を行うことで、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。また、海外の大学との連携を通じ、人文科学分野の教育の国際通</li> </ul>

用性を確保する。

**【研究】**

- 言語学をはじめとする人文科学分野における研究実績をいかし、日本研究、東アジア研究における強みや、中国、台湾、韓国の大学との部局間学術交流協定による国際的な研究協力活動の推進、欧米の大学との研究交流を展開することを通じて、総合的な研究を組織的に推進している。
- これらの取組を通じて、教員はそれぞれ海外の研究組織や研究者と強力な関係をもっており、各教員が蓄えてきた人的リソースを最大限に活用することで、継続的な外国人客員研究員の受入等の成果を上げている。
- 今後、国立国語研究所などとの協力連携体制の更なる強化拡充に取り組むほか、国際化を高めるために大学院レベルでの部局間学術交流協定校の増加に取り組むことで、言語・文学・思想・芸術など人文科学分野の継承・発展に寄与するとともに、国際的なプレゼンスを高めることに組織的に取り組み、我が国社会の課題解決・文化の発展に貢献することを目指す。

**【その他】**

- 大学院の入学辞退率の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。
- 全学的な機能強化を図る観点から、社会ニーズを踏まえつつ、大学院の教育課程及び組織のあり方、規模等を見直しに取り組む。